和泉市　令和8年3月作成

地域避難計画
北池田中学校区

北池田中学校　北池田小学校　いぶき野小学校

毎年＿月＿日に備蓄品の点検をします！

＋防災情報＋

いずみメール
避難情報、避難所、気象警報などの防災情報をお知らせしています。
右下の二次元コードを読み取る、または
izumimail@safe.city.izumi.osaka.jp
に空メールを送信して下さい。

和泉市公式LINE
災害などの緊急情報を発信しています。
右下の二次元コードを読み取る、または
メニューの「友だち追加」で「ID検索」を選択して
ID @izumi-city と入力して検索して下さい。

大阪府河川防災情報
雨量情報・水位情報などが確認できます。
https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html

キキクル（危険度分布）
雨による災害の危険度を地図上でリアルタイムに確認できます。
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/

デジタル防災行政無線（同報系）
- 災害時の情報伝達手段の強化のため、屋外スピーカー及び屋内受信機により、音声による情報発信を行っています。（平成27年3月整備）
- 防災行政無線の放送は、気象条件や環境の違い（家の構造や周辺の交通量など）によって、聞き取りにくいことがあります。
- 防災行政無線からの情報は繰り返し放送されますが、放送を聞き逃してしまった場合、もしくはもう一度放送内容を確認したい場合に電話で確認することができます。

防災行政無線を聞き逃してしまったら…　0725-47-4771

1 自分の避難先を考えよう！

スタート!!　ハザードマップで自宅を探してみよう！　ハザードマップのリンク集

- WEB版ハザードマップ
- 防災ガイドマップ
- ため池ハザードマップ
- 洪水（高潮・津波）ハザードマップ
- 地震ハザードマップと地域危険度マップ
- 内水ハザードマップ

自宅、または自宅付近で危険な区域※はありますか？
※地図に赤色や黄色などで着色されている場所は災害が発生するおそれの高い区域です。（着色の凡例は地図によって異なります）
危険だと思う災害（　　　　　　　　）

はい → **災害の危険があります**
自宅外の安全が確保されている場所へ早めに避難しましょう。

いいえ ↓

1 在宅避難
安全が確保されている場合は自宅に待避しましょう。ただし、不安を感じた場合は避難所などへ避難しましょう。

例外
以下のことを満たす場合は状況や安全を確認し、自宅にとどまることも可能です。
- 堅牢（けんろう）なマンションの上層階などの安全な場所
- 十分な水、食料、生活用品などの備えがある
- 停電や断水などに耐えることができる

※自宅がハザードマップで危険な区域になくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにある場合は、状況に応じて、自宅外への避難を検討しましょう。

避難所などへの避難が困難な場合
いざというときに安全な場所へ移動できるよう、裏表紙の マイ・タイムライン を作成し、避難のタイミングを決めておきましょう。

あらかじめ決めた避難所まで安全に移動できる状況にないとき、近くに避難することのできる安全な建物などはありますか？

はい → **4 近くの安全な建物など へ避難**
自宅から安全に移動できる場所にある近くの堅牢（けんろう）な建物の上階など

いいえ → **5 自宅内のより安全な場所 へ避難**
自宅内のより安全な場所の例
- 最上階の部屋
- 2階以上の山の斜面とは反対側の部屋など

安全に移動できない場合の例
- 夜間　・風雨が強い　・周辺の道路が冠水している
- 周辺の川や用水路が増水している

「避難」とは「難」を「避」けることです。
安全な場所にいる人は、避難所などに行く必要はありません。
「自分のいのちは自分で守る」という意識のもと、皆さん一人ひとりが適切なタイミングで、安全な場所に避難してください。

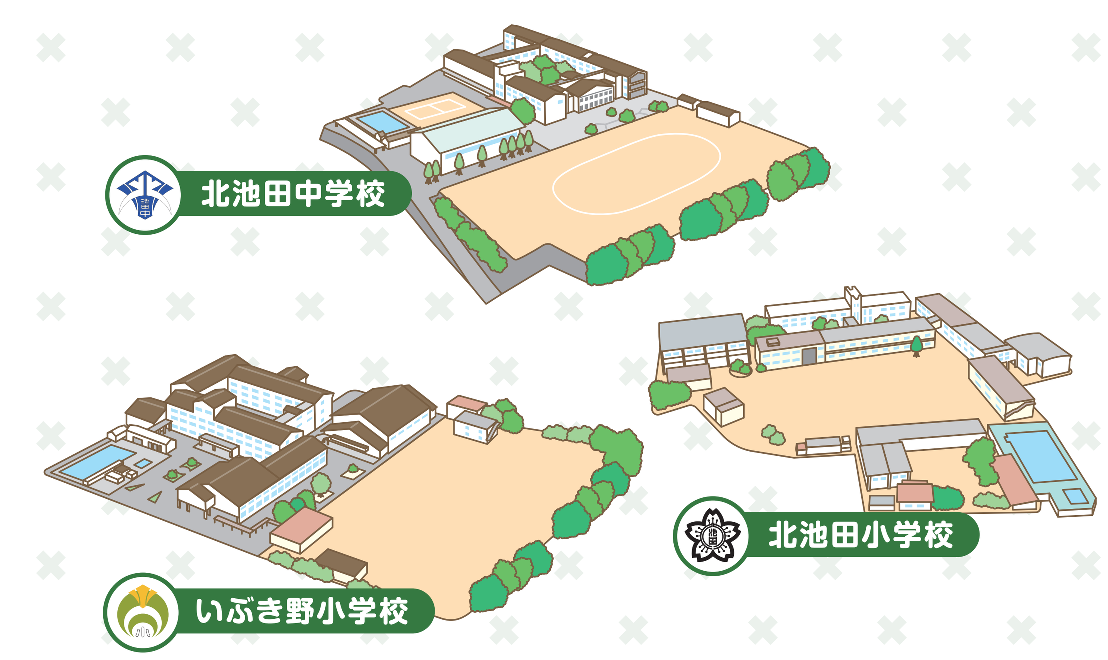
安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい → 安全な場所にある **2 親戚や知人宅 へ避難**

いいえ → 市が指定する **3 避難所 へ避難**

避難する際は、近くの知り合いに避難を呼びかけるなど、地域の皆さんによる助け合いをお願いします。

どこに避難しますか？



※上記の指定避難所に限らず、近くの指定避難所へ避難しましょう。

備えを考えよう！

停電、断水、ガスの停止、食料品などが購入できなくなる生活に備える物の例

ライフラインの代わり
- □ 懐中電灯・ヘッドランプ　□ 予備電池・携帯充電器
- □ ランタン型のLEDライト
- □ 発電機（使用時は必ず換気すること）
- □ カセットコンロ・カセットボンベ

水道が使えなくなる状況が想定される場合は事前に浴槽に水を貯めておくことなども重要です。

水をなるべく使わないための工夫
- ●炊事
  - □ 食品用ラップ（お皿に巻いて使う）　□ 紙皿、紙コップ、割り箸
  - □ キッチンペーパー（汚れを拭き取る）
- ●風呂、シャワー
  - □ 使い捨ての身体ふき
  - □ ドライシャンプー
- ●トイレ
  - □ 非常用簡易トイレ
  - □ 芳香剤・消臭スプレー

最低3日分（できれば1週間分）× 家族分

備蓄品（自宅に備えておく物の例）
- □ 水（1人1日およそ3ℓ程度）
- □ ご飯（アルファ化米など）
- □ 乾麺・乾物・レトルト食品
- □ 調味料（砂糖・醤油・めんつゆ・味噌など）
- □ 缶詰（肉・魚・果物など）
- □ 日持ちする野菜類（玉ねぎ・ジャガイモなど）
- □ 菓子類（ビスケット・チョコレートなど）
- □ 生活用品（ティッシュ・トイレットペーパー・ラップ・ゴミ箱・ポリタンク・携帯用トイレなど）

自分の生活に必要な物（備蓄品）
電気やガス、水道を使わない生活を家庭で体験してみることで、ライフラインが使えないときの備えに気付くことができます。
- □
- □
- □
- □
- □
- □

非常用持ち出し品　避難のときに持ち出す物の例
- □ 水
- □ 食品（ご飯（アルファ化米など）・レトルト食品・ビスケット・チョコ・乾パンなど 最低3日分の用意）
- □ 防災用ヘルメット・防災ずきん
- □ 衣類・下着
- □ レインウェア
- □ 紐なしのズック靴
- □ 予備電池・携帯充電器
- □ 懐中電灯（手動充電式が便利）
- □ 携帯ラジオ
- □ マッチ・ろうそく
- □ 救急用具（ばんそうこう・包帯・消毒液・常備薬など）
- □ 使い捨てカイロ
- □ ブランケット
- □ 軍手
- □ 洗面用具
- □ 歯ブラシ・歯磨き粉
- □ タオル　□ ペン・ノート

避難時に持ち出す物を考えよう！

感染症対策にも有効です！
- □ マスク　□ 手指消毒用アルコール
- □ 石けん・ハンドソープ　□ ウェットティッシュ　□ 体温計

一緒に持ち出そう！
- □ 貴重品（通帳・現金・パスポート・運転免許証・病院の診察券・マイナンバーカードなど）

子どもがいる家庭の備え
- □ ミルク（キューブタイプ）
- □ 使い捨て哺乳瓶
- □ 離乳食
- □ 携帯カトラリー
- □ 子ども用紙オムツ
- □ お尻ふき
- □ 携帯用お尻洗浄機
- □ ネックライト
- □ 抱っこひも
- □ 子どもの靴

女性の備え
- □ 生理用品
- □ おりものシート
- □ サニタリーショーツ
- □ 中身の見えないごみ袋
- □ 防犯ブザー/ホイッスル

高齢者がいる家庭の備え
- □ 大人用紙パンツ
- □ デリケートゾーンの洗浄剤
- □ お薬手帳のコピー
- □ 杖
- □ 補聴器
- □ 介護食
- □ 入れ歯・洗浄剤
- □ 持病の薬
- □ 吸水パッド

自分の生活に必要な物（非常持ち出し品）
- □
- □
- □
- □
- □
- □

ローリングストック
食材を買い置きして消費期限が過ぎれば廃棄するのではなく、「食べ回しながら備蓄する」という考え方です。

普段から少し多めに食材や加工品をストックしておく → 日常生活で備蓄を使う → 使った分だけ買い足す

日常生活で備蓄を使用し、常に新しい物に入れ替える **ローリングストック**
いざというときの賞味期限切れを防いだり、災害時も日常生活に近い食生活を送ることができます。

マイ・タイムラインを作成しよう！

台風や前線が発生！

雨が強くなる前に準備

警戒レベル1　早期注意情報（気象庁が発表）
災害への心構えを高める

警戒レベル2　注意報発表（気象庁が発表）
ハザードマップなどを使って避難行動を確認する

避難行動を開始

警戒レベル3　高齢者等避難（市が発令）
避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など

警戒レベル4　避難指示（市が発令）
危険な場所から全員避難

〜警戒レベル4までに必ず避難！〜

身の安全を確保

警戒レベル5　緊急安全確保（市が発令※）
災害発生または切迫　命の危険 直ちに安全確保！

※警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

2 避難する前の準備を考えよう！
- □ 避難所、避難経路の再確認
- □ 家族の予定を確認、はぐれたときの連絡手段を確認
- □ 非常用持ち出し袋の再確認
- □ 病院に薬をもらいにいく
- □ 携帯電話、モバイルバッテリーの充電
- □ 大切な物を2階に上げる
- □ 家の周りにある風に飛ばされそうな物の片付け
- □
- □
- □
- □
- □

ペットや介護などが必要な家族がいる場合はあらかじめ浸水しない施設や親戚宅などへ避難させるなど検討しましょう。

3 避難時の注意点などを考えよう！
- □ テレビやインターネットで避難情報を確認
- □ 動きやすい服に着替える（靴は運動靴など）
- □ 近所の高齢者などに声かけする
- □ 戸締まり、ガスの元栓を閉める、ブレーカーを切る
- □
- □
- □
- □
- □
- □

4 避難方法を考えよう！
- いつ（タイミング）　例：○○が浸水したら。
- なにで（移動手段）　※なるべく車での避難は控えましょう！
- どこへ（避難所など）　へ逃げます！
- 移動時間　約　分

和泉市立学校の対応、避難情報と警戒レベルについて

※令和8年5月下旬から運用開始予定の防災気象情報を記載しています。

和泉市立学校における警報などの発令が明らかに予測される場合、発令された場合の臨時休業などの判断基準について

	警報など	時刻	対応	給食など
前日	翌日に「和泉市」に大雨警報、暴風警報または特別警報が発令されることなどが明らかに予測される場合	14時まで	・市教育委員会から学校へ対応方針を通知	左記対応(1)(2)の場合は、給食なし
		17時まで	・学校から保護者へ対応方針を周知（紙媒体、保護者連絡アプリ） ・市ホームページに対応方針を掲載 (1)全校計画休業　(2)全校午後から計画休業（給食なし） (3)全校午後から計画休業（給食あり）　(4)その他	
当日	「和泉市」に大雨警報、暴風警報または特別警報発令	7時または登校まで	・全校臨時休業	給食なし
		登校後	全校 ・通学路付近の安全状況、児童生徒の家庭の状況などを把握した上で、速やかに下校。 ・下校させることが危険だと学校が判断した場合は、学校で待機後、保護者へ引渡し。	
	「和泉市」に土砂災害警報発令	7時または登校まで	・南松尾はつが野学園、槇尾学園、南池田小学校、南池田中学校のみ臨時休業　・上記以外の学校は通常登校	給食なし
		登校後	※南松尾はつが野学園、槇尾学園、南池田小学校、南池田中学校のみ ・通学路付近の安全状況、児童生徒の家庭の状況などを把握した上で、速やかに下校。 ・下校させることが危険だと学校が判断した場合は、学校で待機後、保護者へ引渡し。	状況に応じて対応

参考資料
「留守家庭児童会」における大雨警報、土砂災害警報、暴風警報、特別警報が発令された場合の対応

平日	学校が臨時休業または早退となる場合 （大雨警報、暴風警報または特別警報の発令が明らかに予測される場合の計画休業も含む。学校からの配信メール、市ホームページ等にて確認してください）	臨時休会
	留守家庭児童会開設中に「和泉市」に大雨警報、土砂災害警報、暴風警報または特別警報が発令された場合 なお、土砂災害警報については、上記（※）のうち、小学校及び義務教育学校前期課程の3校が対象	臨時休会（保護者のお迎えが必要）

※臨時休会となる場合は、留守家庭児童会に支援員の配置をしません。　※臨時休会などの緊急のお知らせは連絡メールにて行います。
※その他児童の安全確保のため、臨時休会とする場合があります。
※台風接近時などには気象情報や市からの連絡メールに注意し、児童が安全に帰宅できるようご家庭で話し合っておいてください。

避難情報と警戒レベルについて

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報 大雨	河川氾濫	土砂災害
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報
〜警戒レベル4までに必ず避難！〜						
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報
3	災害のおそれあり	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など	高齢者等避難	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報
2	気象状況悪化	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）	―	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	―	早期注意情報		

市長は、防災気象情報のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等発令判断をすることから、避難情報と防災気象情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

地域の助け合いを考えよう！

となり近所の助け合い
～みんなで生き残るための取組み～

01〜06を参考に自分は何ができるか考えよう！

01 一時集合
大地震が発生したら…
まずは 身近な集合場所に集まろう！（避難所など）

やること
- 集合場所は、地域で身近な集合場所（避難所など）を決めておきます。
- 町会・自治会の班（組）単位などで一時的に集合し、地域の安否確認や消火、救出、情報収集・伝達などを行います。活動しやすい目安は20軒（世帯）前後です。

身近な集合場所：公園　ごみ集積場所　駐車場　空き地など
集合住宅では…：エレベーターホール　棟前
棟前、エレベーターホールなども活用できます。

02 安否確認
やること
- 近所の人たちの安否確認（確認内容）
  - 助けが必要/不要
  - 在宅/不在
  - けが人の有/無
- 安否情報を市の防災組織などに報告

ポイント！
- 少数グループや階段の区画ごとに行うなど、地域の中で、安否確認の実施範囲を決めておきます。
- いざというときに助けが必要となる人たち（避難行動要支援者など）の情報を、地域の中で日頃から共有しておきます。

03 初期消火
やること
- 消火器を持ち寄って素早い消火
- お風呂の残り湯を使った消火
- バケツリレーによる消火

ポイント！
- 自分の安全を最優先に考え、複数の人と協力して行動することが大切です。
- 危険を感じた場合には、無理をせず消火をあきらめて直ちに避難しましょう。

玄関先に消火器を置き、誰もが直ぐに使えるようにすることが有効です！

04 救出
やること
【家具や倒壊物の下敷きになった人の救出】
- 下敷きになった人への声かけ
- バール、車のジャッキなどを使い、倒壊物の持ち上げ
- 作った隙間から下敷きになった人の救出など

ポイント！
- 自分の安全を最優先に考えて、いつでも逃げられるようにしましょう。
- 1人での活動は危険なため、必ず2人以上で活動しましょう。

05 応急手当・搬送
やること
- 心肺蘇生とAED
- 出血に対する止血
- やけどに対する手当
- けが人の搬送
  - 平地：簡易担架や毛布、人力
  - 階段：車椅子や搬送器具　など

ポイント！
- 搬送する際は、相手に恐怖感や苦痛を与えないようにしましょう。

足側から搬送　応急手当 直接圧迫止血法

06 情報収集・伝達
やること
- 班（組）単位のグループ内で情報収集
- グループで収集した情報を市の防災組織などに伝達

ポイント！
- 集めた情報は、情報収集用の用紙を作成するなどし、漏れのないように記録しましょう。
- 情報の伝達は、地域に応じた手段を使います。

グループで収集した情報：安否情報｜避難行動要支援者などの有無｜被害状況（人、建物など）｜火災の有無 → 情報を伝達 → 市の防災組織など

自分ができることを書き込もう！　記入欄
例：私は地域のために災害時○○○○をします。

この地域避難計画は、13,835部作成し、一部あたりの単価は62円です。